

杉野小学校からの報告

「みずすまし」水生生物調査結果表

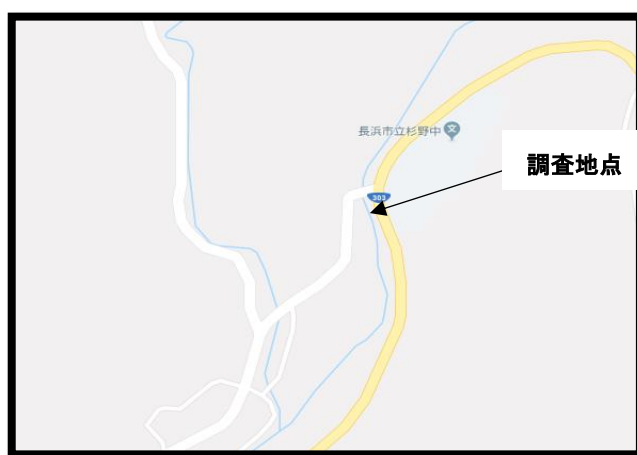
調 査 場 所 名 (No.)			奈野良橋付近 No.1				奈野良橋付近 No.2				No.3				
月 日 時 刻			7月16日 9時00分				9月24日 14時00分								
天 気			晴れ				晴れ								
水 温 (°C)			17℃				18℃								
気 温 (°C)			25.5℃				24℃								
川 幅 (m)			4.5m				4.5m								
河 川 名			杉野川				杉野川								
生 物 を 採 取 し た 場 所			川の右岸				川の右岸								
水 深 (cm)			30.0cm				35.0cm								
流 速 (cm / s)			40cm/s				50cm/s								
水 の よ う す		指 標 生 物													
I き れ い	1	カワゲラ類	○												
	2	ナガレトビケラ・ヤマトビケラ クロツツビケラ類	●												
	3	ヒラタゲロウ類					●								
	4	ブユ類					○								
	5	ヘビトンボ類	○												
	6	ガガンボ類	○												
	7	サワガニ					○								
I・II 共通	8	ウスムシ類	○												
	9	2以外のトビケラ類													
	10	3、14以外のカゲロウ類	○												
II 少しよごれている	11	ヒラタロムシ類													
	12	シジミ類													
II・III 共通	13	カワニナ													
III よごれている	14	サホコカゲロウ													
	15	ヒル類													
	16	ミスムシ													
	17	モノアラガイ													
III・IV 共通	18	サカマキガイ													
IV 大変よごれている	19	赤いユスリカ													
	20	イトミミズ類													
	21	ハナアブ類													
水 質 判 定 表	水のような区分		I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	
	1	みつかった指標生物の 種類の計 (○+●)	6	2			3								
	2	みつかった指標生物のうち 一番数の多くあった種類(●)	1				1								
	合 計 (1欄+2欄)		7	2			4								
	判定結果(合計が最も大きい区分)		I				I								

調査考察、活動内容等

(1) 調査活動の概要

本校は、5・6年生の3名で7月・9月の計2回水生生物調査を実施しました。

調査地点は、学校の近くを流れる杉野川（高時川の上流）の奈野良橋付近（地図参照）です。山間部を流れる川であるため、安全面や移動時間のことを考えると適当な場所が少なく、1地点のみで調査することにしました。河川の状態は、川幅は5m前後で川底には10cm～50cm程度の石が多いです。兩岸には高さ2m程度の岩も見られます。今回調査をした地点は、水深30cm前後ですが、場所によっては1m程度の所もあります。川の中央部の流速はかなり速く、大人でも気を抜くと流されそうになるくらいです。子どもたちの住む字や通学路沿いにあることから昔から杉野川で遊び親しみを持っています。上流に金居原地区がありますが人家は少なく、川は夏でも比較的水温が低く、一年中きれいな水が流れています。



第1回調査 7月16日

天気：晴れ 水温：17℃ 流速：40 cm/s

第1回は、講師として布施義明先生をお招きし、ご指導いただきました。水質階級や指標生物の特徴、生き物がすむ場所についての説明を受け、川に入りました。7月でしたが川の水はとても冷たく、その中でも子どもたちは意欲的に水生生物調査をしました。

とれた指標生物は、多い順にナガレトビケラ・ヤマトトビケラ・クロツツトビケラ類、ヘビトンボ類、ガガンボ類、カワゲラ類などの生き物を確認することができました。また、その他の生き物として、カジカガエルやナベブタムシといった生き物を見つけることができました。



第2回調査 9月24日

天気：晴れ 水温：18℃ 流速：50 cm/s

とれた指標生物は、多い順にヒラタカゲロウ類、ブユ類、サワガニなどの生き物を確認することができました。その他の生き物として、カジカガエル、ナベブタムシを見つけることができました。



(2) 環境日記

☆はじめ、あみですくうとナベブタムシが5~6匹一気にとれたのでびっくりしました。ブユ類と思われるいも虫のような虫に関しては、体がすき通っていて、不思議に思いました。友達がサワガニのこうらがやわらかいと言っていたので、脱皮をした後じゃないかと思いました。カゲロウ類は、秋でもたくさんの種類がいることがわかりました。

☆水生生物は、秋は春より大きくなっているように感じました。ヒラタカゲロウがととても多くとることができました。サワガニも多くとることができました。ブユ類の生き物もとれたけど、名前がわかりませんでした。杉野の川には、きれいな川にしかすまない生き物が多く、自分たちの学校の近くを流れる川は、とてもきれいだとわかりました。

今度は冬に行ってみたいなと思いました。僕の予想は、冬の方が秋よりも生き物が大きくなっていて、春になると大人になって川から出て行くと思います。

☆ナベブタムシは、大きいのが14匹、小さいのが7匹ほどいました。つかまえた中では、一番数の多い種類でした。もう一つのトレイの中には、サワガニとブユの仲間がいました。サワガニ1匹、ブユ類3匹、カワゲラ類7匹いました。体はうすっぺらかったです。サワガニ以外はよく動いていました。30分の活動でとれたのは30匹ほどでしたが、「もう少し種類がいないのかな」と思いました。

(「みずすまし」環境日記から抜粋)

(3) 調査結果

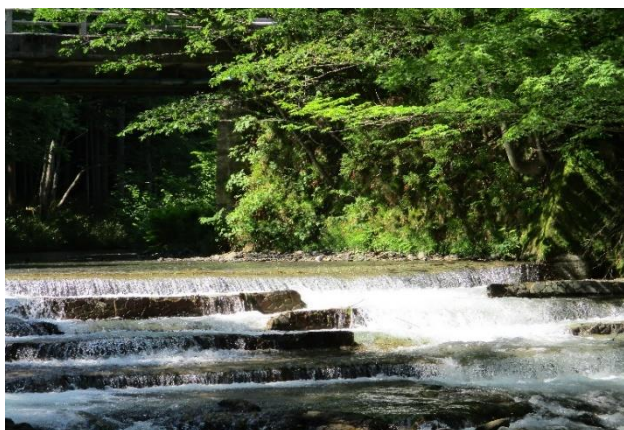
子ども達は、計2回の水生生物調査結果から、次のような結果をまとめました。

- ① 杉野川の水は、きれい（I）である。
（理由1）I やI・II 共通の指標生物が多い。
（理由2）COD 値が0～2 である。
- ② 7月より9月の方が同じ種類の水生生物でも体長が大きくなっていた。

(4) まとめ

水生生物調査を通して、杉野川には多くの種類の生き物がすんでいることがわかりました。また、指標生物や水質判定の結果から、杉野川はきれいな川であることがわかりました。

校区内を流れる川がきれいなことは、地域の人から教えてもらったり、夏場に鮎釣りに訪れる人が多かったりすることから知っていたものの、自分で生き物をつかまえて調査することであらためてきれいな川であることを実感することができました。水生生物調査は、自分たちの地域の川を大切にしようとする気持ちを育てるよい機会になりました。



5月の杉野川



杉野川で鮎つかみ体験



布施義明先生からの道具の使い方講習